

5月22日～5月28日

I. 広東省

1. 人事異動

- 26日、第12期省党第1回全体会議で、何忠友・副省長、江凌・省党秘書長兼弁公庁主任兼改革弁公室主任、嚴植嬋・省統一戦線部長、曾志権・省財政庁長が新たに省党常務委員に就任した（5月27日付『南方日報』）。
- 先頃、省党委員会は李水華・潮州市党書記が揭揚市党書記に就任することを決定した（5月28日付『南方日報』）。

2. 省党第12回代表大会の開催

- 21日、上記代表大会開催の直前、省党委員会常務委員がそれぞれ省内各市代表団の宿舎を訪問（5月22日付『南方日報』）。
- 22日午前、上記代表大会が開幕。胡春華・省党書記が第11期省党委員会を代表し、「習近平・総書記による政治運営の新理念・新思想・新戦略を深く貫徹し、小康社会の全面的な構築と社会主義の現代化という新たな道の建設を急ぐよう励もう」と題した報告を行なった。馬興瑞・省長が代表大会を主宰（5月23日付『南方日報』）。
- 22日午後、胡春華・省党書記が汕尾市代表団、馬興瑞・省長が省直属の政府関連部門代表団、李玉妹・省人代主任が雲浮市代表団、王栄・省政協主席が揭揚市代表団による上記報告の審議に出席（5月23日付『南方日報』）。
- 23日、胡春華・省党書記が部隊代表団と広州市代表団、馬興瑞・省長が企業代表団と広東省駐在の中央直属組織代表団による上記報告の審議に出席（5月24日付『南方日報』）。
- 24日、胡春華・省党書記が深圳市代表団による上記報告の審議に出席し、馬興瑞・省長が省直属の党関連部門代表団による省紀律検査委員会の業務報告の審議に出席（5月25日付『南方日報』）。
- 26日、上記代表大会が閉幕。第11期省党委員会の報告、省紀律検査委員会の業務報告について審議し採択。また、第19回党大会に出席する広東省代表、第12期省党委員会及び省紀律検査委員会の選挙を行なった（5月27日付『南方日報』）。
- 26日、胡春華・省党書記主宰の第12期省党委員会第1回全体会議が開催され、常務委員会委員、書記、副書記が選出された（5月27日付『南方日報』）。

3. 劉雅鳴・中国気象局長一行が広東省を視察

- 22日午後、鄧海光・副省長主宰の省政府と中国気象局による省・部協力合同会議が開催され、馬興瑞・省長と劉雅鳴・中国気象局長が出席するとともに講話を行なった（5月23日付『広州日報』）。
- ※広東省では特に気象観測に基づく予報・警報の正確性と適時性を適切に向上させるための関連研究と人材育成を急いで進めている。

4. 陳雲賢・省政府党組織メンバーがアルゼンチンの建国レセプションに出席

- 25日、陳雲賢・省政府党組織メンバーが在広州アルゼンチン総領事館の招きを受け、上記レセプションに出席。広東省と同国のメンドーサ州は2013年11月に友好関係を締結しており、本年3月にはラ・リオハ州経済・貿易・文化協会が深圳市に代表処を設立している。また、本年は中国・アルゼンチン国交樹立45周年にあたる。アルゼンチンの総領事は、「一帯一路」イニシアチブの下、サッカー・鉱物資源・食品等の分野における協力を強化していきたいと述べた（5月26日付『南方日報』）。

5. 馬興瑞・省長が香港基本法実施20周年座談会で発言

- 27日午前、北京市で開催された香港基本法実施20周年座談会に出席した馬興瑞・省長は次のように述べた。香港返還から20年間にわたる広東省と香港の協力の成果は顕著であり、両地域の経済・社会の発展ならびに民生改善に強力な原動力を注ぎ、両地域の民衆による高度な認識の一致と社会各界の積極的な参加を得てきた。このような実践は、中央の香港に対する政策決定・手配ならびに「一国二制度」、「香港人が香港を治める（港人治港）」という高度な自治の方針が完全に正確なものであることを十分に証明しており、香港基本法の制定・実施は優れて効果的である。新たな歴史の出発点に立ち、広東省と香港の協力は新たな重要なチャンスに直面している。中央は両地域の協力を非常に重視しており、國務院の「政府活動報告」では「広東・香港・マカオ・ベイエリア都市圏発展計画を研究し制定」しなければならないということが明確に提示された。本年4月、習近平・総書記は同省に対して特別に重要指示を出し、同省が党による指導・中国の特色ある社会主義・新たな発展理念・改革開放を堅持し、全国で供給構造改革を推進し、イノベーションによる発展戦略を実施し、開放型経済という新体制を構築するための支えとなり、小康社会を全面的に構築するよう努力し、社会主義の現代化という新たな道の先頭を歩むよう明確に要求した。この要求に対し、同省は習近平・総

書記の指示の精神と中央による各種政策決定・手配を真剣に貫徹・実行し、「一国二制度」の方針を堅持し、香港基本法に厳格に基づいて仕事を行い、香港政府や各界の有識者と共に、同省と香港の各分野における更に緊密な協力を全面的に深めていく（５月２８日付『南方日報』）。

6. 省政府・省人代・省政協等による省党第１２回代表大会の精神を伝達・学習する会議の開催

- ２７日午後、馬興瑞・省長主宰の省政府党組織拡大会議が開催され、省党第１２回代表大会の精神、省党第１２期第１回全体会議の精神を伝達・学習（５月２８日付『南方日報』）。
- ２７日、李玉妹・省人代主任主宰の党組織拡大会議が開催され、省党第１２回代表大会の精神を伝達・学習・貫徹し、それを貫徹するための意見について検討・学習（５月２８日付『南方日報』）。
- ２７日午後、王栄・省政協主席主宰の党組織拡大会議が開催され、省党第１２回代表大会の精神を伝達・学習・貫徹し、それを貫徹するための意見について検討・学習。王栄・主席が講話を行い、省政協副主席の林雄氏、林木声氏、劉日知氏、吳偉鵬・省政協秘書長が上記精神を伝達（５月２８日付『南方日報』）。
- ２７日午前、省党委員会が広東省の各民主党派、工商連合会責任者、無党派有識者代表に向けて、省党第１２回代表大会、省党第１２期第１回全体会議の状況報告を行い、省党委員会の業務に対する提案を聴取。任学鋒・広州市党書記が出席するとともに講話を行なった。江凌・省党秘書長兼弁公庁主任、嚴植嬋・省統一戦線部長も出席（５月２８日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 省党第１２回代表大会関連

- ２２日、任学鋒・市党書記が上記代表大会の広州市代表团による討論会に出席し、同代表团と共に省党代表大会の報告について審議（５月２３日付『広州日報』）。
- ２２日午後、温国輝・市長が上記代表大会の広州市代表团による討論会に出席し、胡春華・省党書記が第１１期省党委員会を代表して行なった業務報告について代表者たちと共に審議（５月２３日付『広州日報』）。
- ２７日、任学鋒・市党書記主宰の市党常務委員会会議が開催され、省党第１２回代表大会の精神を伝達・学習・貫徹した（５月２８日付『広州日報』）。
- ２７日午後、温国輝・市長主宰の市政府党組織会議が開催され、省党第１２回代表大会の精神を伝達・学習し、それを貫徹・実行するための業務について検討し手配（５月２８日付『広州日報』）。

2. 蔡朝林・副市長がカナダ・モントリオール銀行金融グループ副主席一行と会談

- 先頃、蔡朝林・副市長が林凱文・モントリオール銀行金融グループ副主席一行と会談し、一行の訪問を歓迎するとともに、広州市の経済・社会の発展状況について簡潔に紹介し、次のように述べた。同グループは世界的に知名度が高く、同銀行が広州市で急速に発展し、同市の経済・社会の発展に質の高い金融サービスを提供してほしい。１２月初旬に同市で２０１７「フォーチュン」グローバル・フォーラムが開催されるが、同グループの出席を歓迎する（５月２５日付『広州日報』）。

3. ２０１７中国イノベーション・起業成果交易会（創交会）の開催等

- ２６日～２７日、上記創交会が開催され、周済・中国工程院院長、叢斌・九三学社中央委員会副主席、袁宝成・副省長、温国輝・市長等が２６日午前に開催された開幕式に出席。王東・副市長が開幕式を主宰。このたびの創交会では約１３００件のプロジェクトが展覧され、２０以上の特別イベントを開催、優秀なプロジェクトのビジネス・マッチングが行われた（５月２７日付『広州日報』）。
- ２５日、王東・副市長主宰の院士諮問座談会に招かれた中国工程院、中国科学院、外国籍の院士が広州市の製造業の発展について提案・献策を行なった。周済・中国工程院院長、温国輝・市長が出席するとともに講話を行い、座談会終了後、市政府・中国工程院協力委員会が２０１７年の業務会議を開催（５月２７日付『広州日報』）。

4. ２０１７広州ＡＩ（人工知能）業務交流会・２０１７広州ＡＩ円卓会議の開催

- 先頃、任学鋒・市党書記、温国輝・市長が２０１７広州ＡＩ（人工知能）業務交流会に出席した来賓たちと懇談。田溯寧・亜信集団董事長、楊致遠（ジェリー・ヤン）Yahoo! 共同創業者・アリババ取締役・レノボ取締役、鄧中翰・中国工程院院士・中星微集団（VIMICRO）創業者、李凱・プリンストン大学教授、張亜勤・バイドゥ総裁等２５人の来賓が出席（５月２７日付『広州日報』）。

※中星微集団（VIMICRO）：当時の国家情報産業部のサポートを受け、１９９９年北京市中関村テクノパークに設立。現在、デジタル・マルチメディアＩＣチップの研究・製品化に尽力。鄧中翰氏は元ＩＢＭ研究員。

※バイドゥ総裁の張亜勤氏は元マイクロソフト・グローバル副総裁。IEEEフェロー。

●先頃、葉牛平・市政府秘書長主宰の2017広州AI円卓会議が開催され、グローバルなAI産業に携わる学術関係者、企業のリーダー28人が出席。温国輝・市長が挨拶を行い、広州市は現在、「中国製造2025」のパイロット・モデル都市を全力で構築しているところであり、「IAB（新世代情報技術・AI・バイオ医薬）」計画を力強く実施し、100億元規模のAI産業基金の設立準備を進めており、同産業の発展をサポートしていくと述べ、提案・献策を求めた。同時に、蔡朝林・副市长兼南沙区党書記が同区のサポート政策（「広州南沙国際AI産業ハイレベル研究院」の建設）を発表した（5月27日付『広州日報』）。

5. 中国・カナダ（広州）技術移転センターの設立

●27日午後、上記センターの設立式典が開催され、劉曉鴻・広州知的財産権交易所董事長が次のように紹介した。同センターは中国とカナダの革新的技術協力を積極的に推進するため、イノベーション資源のマッチングを行い、両国の国際技術移転、技術交易、研究成果の製品化等の分野で重要な役割を果たしていく（5月28日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. イノベーション関連動向

●深圳市は地理情報技術について検討し、スマートシティを発展させていこうとしている。21日、第1回インサー測量・製図技術の応用及び産業化サミットフォーラムが開催され、来賓と共にインサーのデータ処理ポリシー及びその方法、地質災害モニタリング及び警報、測量・製図技術の応用等の関連テーマについて検討した。徐冠華・元科学技術部長、李朋徳・国家測量・製図地理情報局副局长、張虎・常務副市长等がフォーラムの開幕式に出席するとともに、深圳市都市マイクロ波リモートセンシング技術応用研究センター設立のテープカットが行われた。ここ数年、中国のインサー技術は産業発展の最盛期に入っており、深圳市ではインサー技術を応用する地場企業が数多く出現している状況を背景に、この分野を発展させていく目的で、測量・製図及びリモートセンシング技術分野の国内の専門家が意見交換を行った（5月22日付『深圳特区報』）。

※インサー（In SAR：Interferometric SAR）：2つの合成開口レーダ画像を用いて、干渉処理により地形の標高や変動量を求める技術。

●先頃、深圳市海外イノベーションセンターに対するプレート授与式が開催された。同センターが建設される場所は、米国（サンフランシスコ、ボストン、シアトル）、英国（ロンドン）、フランス（パリ西部のイヴリーヌ県）、イスラエル（テルアビブ、ハイファ）、カナダ（トロント）である。計画によれば、2022年までに同センターは深圳市に新たな資源をもたらす重要な源泉となり、同市がグローバルな科学技術の（ビジネス）エコシステムにおける協力のハブとして、国際科学技術・産業イノベーションの中心地となるよう手助けしていく（5月26日付『深圳特区報』）。

2. 省党第12回代表大会関連

●22日午後、王偉中・市党書記が上記代表大会での深圳市代表団による審議に出席し、次のように述べた。上記代表大会は広東省の改革・発展が重要な段階に入っていくところで開かれた非常に重要な会議である。胡春華・省党書記が第11期省党委員会を代表して行なった報告は、質・基準・水準の高い報告である。全編を通して習近平・総書記による政治運営の新理念・新思想・新戦略で貫かれた同報告は、「4つの意識」をはっきりと実行する政治綱領となっている。広東省が今後5年ひいては長期的にどこに向かって、どのように進んでいくのかという重要な問題に科学的に答えており、全省の上から下まで精神を集中し、力を合わせて、力の限り前進していくための手引きである。非常に正確に描かれた広東省の発展に合った、この実際的な任務指示と設計図は、新たな出発点に立ち、新たな局面を作り上げていくための行動指南である（5月23日付『深圳特区報』）。

●27日午後、王偉中・市党書記主宰の市党常務委員拡大会議が開催され、省党第12回代表大会の精神を伝達・学習・貫徹した（5月28日付『深圳特区報』）。

3. 深圳市からも中国・欧州定期貨物列車が運行開始

●22日午前、深圳市発としては初となる中国・欧州国際貨物列車が塩田港からベラルーシの首都ミンスクへ向けて出発した。この貨物列車は塩田港、新疆ウイグル自治区アラشانコウ、カザフスタン、ロシア等を経由し、終点のミンスクに到着する。運行距離は約9900Km、所要時間は約13日（5月23日付『南方日報』、『深圳特区報』）。

4. 第1回広東・香港・マカオ・ベイエリア（国際）科学技術・経済イノベーション交流会の開催

●27日、上記交流会が開催され、広東・香港・マカオ・ベイエリアの相互連結（コネクティビティ）を促進し、国際協力・共有・ウィンウィンのプラットフォームを構築し、同ベイエリアの新産業・新経済の発展を加速させた。周長瑚・元市政協副主席、廖軍文・元市政協副主席・元市統一戦線部長が出席（5月28日付『深圳特区報』）。